

特定中山間保全整備事業「阿蘇小国郷区域」 効率的整備手法検討委員会の検討結果

特定中山間保全整備事業「阿蘇小国郷区域」の見直しにあたり、地域の特性に応じた適正な整備やコスト縮減の取組み等、効率的・効果的な整備手法に関する検討結果は、次のとおりである。

農林道整備において、

- ・ その他農林道の未整備区間（2.5 km）について、現道を最大限活用することにより、大半の工事を中止し、必要最小限の工事を実施
- ・ 基幹農林道の法面整備での現地発生材（チップ材）の活用や盛土材料の流用調整による運搬費用の節減

により、約5億円の縮減を図ることについては、その実現に向け適切に事業を管理していく必要がある。

なお、より一層の効率的・効果的な事業の実施が可能となるよう、第三者委員会の意見に留意して事業の実施・管理に努めること。